

診療報酬架空請求の疑いで医師と事務長逮捕 在宅診療装い95万円 警視庁

毎日新聞 2020年5月27日 12時28分 (最終更新 5月27日 12時28分)

速報 事件・事故・裁判

診療報酬を架空請求したとして、警視庁捜査2課は27日、医師で医療法人「甲神会」理事長の広戸孝行（49）＝東京都国分寺市＝と、甲神会事務長の山田誠（53）＝羽村市＝の両容疑者を詐欺と私電磁的記録不正作出・同供用容疑で逮捕したと発表した。

Timeline

警視庁＝米田堅持撮影

[PR]

逮捕容疑は1月上旬～2月下旬ごろ、山田容疑者と同居する70代の実母に在宅診療をしたとする虚偽の電子カルテを作成し、事務員に虚偽の電子レセプトを作らせ、東京都後期高齢者医療広域連合に診療報酬計約95万円を振り込ませたとしている。「弁解の余地もありません」などと、ともに容疑を認めている。

同課によると、広戸容疑者は2014年4月に「羽村在宅クリニック」を開院した。【岩崎邦宏】



関連記事

< 診療報酬詐欺容疑 組員や医師ら逮捕 > 福岡県警